nikko am
Nikko Asset Management

エマージング・プラス（マネープールファンド）

運用報告書（全体版）

第25期（決算日　2024年２月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「エマージング・プラス（マネープールファンド）」は、2024年２月13日に第25期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2011年８月31日から2026年８月10日までです。	
運用方針	主として「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券ならびにわが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	エマージング・プラス（マネープールファンド）	「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券ならびにわが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
	マネー・アカウント・マザーファンド	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	エマージング・プラス（マネープールファンド）	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行ないません。
	マネー・アカウント・マザーファンド	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

＜641596＞

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120-25-1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
21期(2022年２月10日)	9,987	0	△0.0	－	9
22期(2022年８月10日)	9,986	0	△0.0	－	9
23期(2023年２月10日)	9,984	0	△0.0	－	9
24期(2023年８月10日)	9,982	0	△0.0	－	9
25期(2024年２月13日)	9,981	0	△0.0	－	9

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

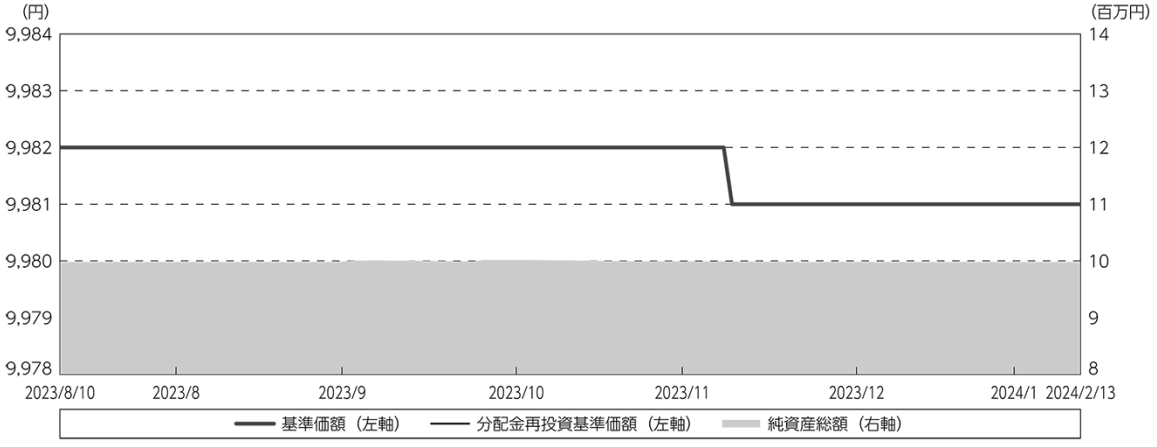
年月日	基準価額	
		騰落率
(期　首)	円	%
2023年８月10日	9,982	－
８月末	9,982	0.0
９月末	9,982	0.0
10月末	9,982	0.0
11月末	9,982	0.0
12月末	9,981	△0.0
2024年１月末	9,981	△0.0
(期　末)		
2024年２月13日	9,981	△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

（2023年８月11日～2024年２月13日）

期中の基準価額等の推移



期　首：　9,982円
期　末：　9,981円（既払分配金（税込み）：０円）
騰落率：△ 0.01％（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年８月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第３位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券ならびにわが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値下がり要因＞
・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

投資環境

（国内短期金利市況）
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.01%近辺で期間末を迎えました。
国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの－0.11%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.12%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）
運用の基本方針に従い、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資などを行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項目	第25期 2023年８月11日～ 2024年２月13日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	11

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）
　引き続き、原則として「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券およびわが国の国債や格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行なう方針です。

（マネー・アカウント・マザーファンド）
　引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。
　将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

　今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

○１万口当たりの費用明細

（2023年８月11日～2024年２月13日）

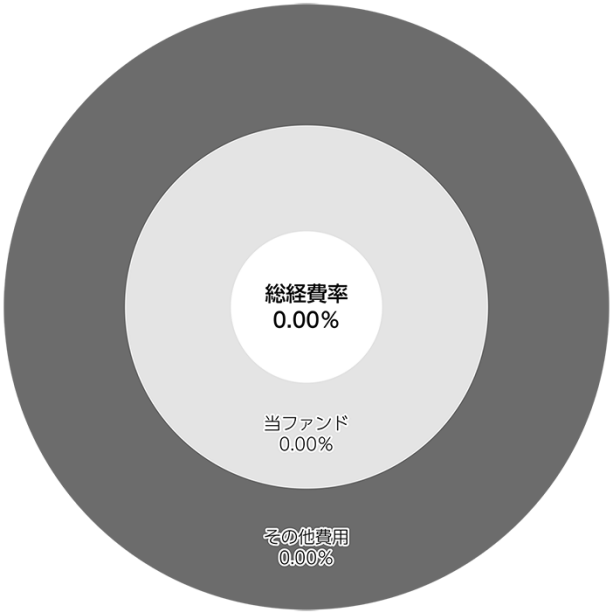
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	0	0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、9,981円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.00％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「１万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年８月11日～2024年２月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	35	35	33	33

○利害関係人との取引状況等

（2023年８月11日～2024年２月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2023年８月11日～2024年２月13日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年８月11日～2024年２月13日）

当期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	当期末残高（元本）	取引理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	－	－	10	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2024年２月13日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	9,865	9,867	9,884

（注）親投資信託の2024年２月13日現在の受益権総口数は、949,819千口です。

○投資信託財産の構成

（2024年２月13日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
マネー・アカウント・マザーファンド	9,884	99.0
コール・ローン等、その他	98	1.0
投資信託財産総額	9,982	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年２月13日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	**9,982,864**
コール・ローン等	98,854
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	9,884,010
(B) 負債	**22**
その他未払費用	22
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**9,982,842**
元本	10,002,004
次期繰越損益金	△ 19,162
(D) 受益権総口数	**10,002,004口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**9,981円**

(注) 当ファンドの期首元本額は10,000,995円、期中追加設定元本額は59,273円、期中一部解約元本額は58,264円です。
(注) １口当たり純資産額は0.9981円です。
(注) 2024年２月13日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は19,162円です。

○損益の状況 (2023年８月11日～2024年２月13日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 有価証券売買損益	**△ 986**
売買損	△ 986
(B) 信託報酬等	**△ 22**
(C) 当期損益金(Ａ＋Ｂ)	**△ 1,008**
(D) 前期繰越損益金	**△13,552**
(E) 追加信託差損益金	**△ 4,602**
(配当等相当額)	(11,026)
(売買損益相当額)	(△15,628)
(F) 計(Ｃ＋Ｄ＋Ｅ)	**△19,162**
(G) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	**△19,162**
追加信託差損益金	△ 4,602
(配当等相当額)	(11,026)
(売買損益相当額)	(△15,628)
分配準備積立金	57
繰越損益金	△14,617

(注) 損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2023年８月11日～2024年２月13日）は以下の通りです。

項　　目	2023年８月11日～2024年２月13日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	11,026円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	57円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	11,083円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	11円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	0円

○お知らせ

約款変更について

2023年８月11日から2024年２月13日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

マネー・アカウント・マザーファンド

運 用 報 告 書

第14期（決算日　2023年10月12日）
（2022年10月13日～2023年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	2009年10月30日から原則無期限です。
運　用　方　針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組　入　制　限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

フ　ァ　ン　ド　概　要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

＜636843＞

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
10期(2019年10月15日)	10,028	△0.0	－	586
11期(2020年10月12日)	10,025	△0.0	－	888
12期(2021年10月12日)	10,023	△0.0	－	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022	△0.0	－	560
14期(2023年10月12日)	10,018	△0.0	－	458

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	
		騰落率
(期　首)	円	%
2022年10月12日	10,022	－
10月末	10,022	0.0
11月末	10,021	△0.0
12月末	10,020	△0.0
2023年１月末	10,020	△0.0
２月末	10,020	△0.0
３月末	10,020	△0.0
４月末	10,020	△0.0
５月末	10,019	△0.0
６月末	10,019	△0.0
７月末	10,019	△0.0
８月末	10,018	△0.0
９月末	10,018	△0.0
(期　末)		
2023年10月12日	10,018	△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

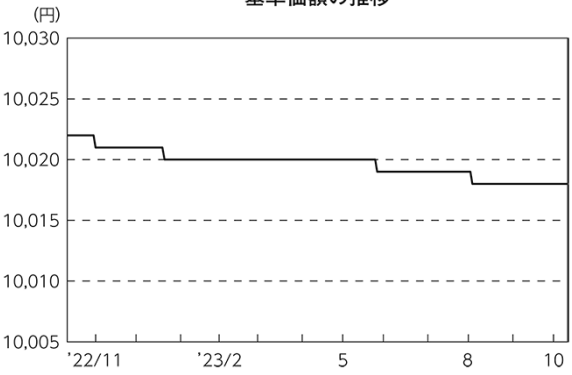
○運用経過

（2022年10月13日～2023年10月12日）

基準価額の推移

期間の初め10,022円の基準価額は、期間末に10,018円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の推移



期　首	期中高値	期中安値	期　末
2022/10/12	2022/10/13	2023/08/03	2023/10/12
10,022円	10,022円	10,018円	10,018円

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値下がり要因＞
・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

（国内短期金利市況）
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.03%近辺で期間末を迎えました。
国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの－0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.21%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。
将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

（2022年10月13日～2023年10月12日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	0	0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,019円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2022年10月13日～2023年10月12日）

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

（2022年10月13日～2023年10月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2022年10月13日～2023年10月12日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

（2023年10月12日現在）

2023年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年10月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	460,554	100.0
投資信託財産総額	460,554	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年10月12日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	460,554,227
コール・ローン等	460,554,227
(B) 負債	2,542,153
未払解約金	2,541,999
未払利息	154
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	458,012,074
元本	457,205,640
次期繰越損益金	806,434
(D) 受益権総口数	457,205,640口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	10,018円

（注）当ファンドの期首元本額は559,411,728円、期中追加設定元本額は65,398,257円、期中一部解約元本額は167,604,345円です。

（注）2023年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>（毎月分配型）	1,008,393円
・中華圏株式ファンド（毎月分配型）	61,601,208円	・インデックスファンドＭＬＰ（１年決算型）	873,815円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド　円ヘッジコース	39,403,892円	・ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド	817,802円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド　ヘッジなしコース	16,912,508円	・エマージング・プラス・円戦略コース	690,677円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネープールファンド）	12,476,397円	・欧州社債ファンド Ｂコース（為替ヘッジなし）	553,224円
・エマージング・プラス（マネープールファンド）	9,883,036円	・ＤＣ世界株式・厳選投資ファンド	472,243円
・アジア社債ファンド Ｂコース（為替ヘッジなし）	9,797,265円	・ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジあり	421,031円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>（毎月分配型）	9,153,672円	・世界標準債券ファンド（１年決算型）	260,591円
・インデックスファンドＭＬＰ（毎月分配型）	7,091,485円	・欧州社債ファンド Ａコース（為替ヘッジあり）	198,309円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	6,597,366円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>（毎月分配型）	117,667円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	6,192,802円	・上場インデックスファンド海外新興国株式（MSCIエマージング）	99,902円
・世界標準債券ファンド	6,082,942円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり）	48,754円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド（１年決算型）	5,821,782円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）	22,949円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	3,018,587円	・上場インデックスファンド海外先進国株式（MSCI-KOKUSAI）	19,997円
・ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし	3,000,903円	・上場インデックスファンド米国株式（S&P500）	19,983円
・アジアリートファンド（毎月分配型）	2,676,160円	・上場インデックスファンド豪州リート（S&P/ASX200 A-REIT）	19,977円
・アジア社債ファンド Ａコース（為替ヘッジあり）	2,538,599円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,517,567円	・上場インデックスファンドフランス国債（為替ヘッジあり）	9,979円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>（毎月分配型）	1,963,920円	・上場インデックスファンドフランス国債（為替ヘッジなし）	9,979円
・インド株式フォーカス（奇数月分配型）	1,797,541円	・上場インデックスファンド豪州国債（為替ヘッジなし）	9,978円
・グローバル株式トップフォーカス	1,696,908円	・上場インデックスファンド豪州国債（為替ヘッジあり）	9,978円
・グリーン世銀債ファンド	1,451,090円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)為替ヘッジあり	9,967円
・アジアＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	1,224,190円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,018,655円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円

（注）１口当たり純資産額は1.0018円です。

○損益の状況

（2022年10月13日～2023年10月12日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 198,410
受取利息	939
支払利息	△ 199,349
(B) 保管費用等	△ 102
(C) 当期損益金（A＋B）	△ 198,512
(D) 前期繰越損益金	1,218,941
(E) 追加信託差損益金	129,627
(F) 解約差損益金	△ 343,622
(G) 計（C＋D＋E＋F）	806,434
次期繰越損益金（G）	806,434

（注）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）損益の状況の中で**(F)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年10月13日から2023年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

●当ファンドについて、新ＮＩＳＡ制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年７月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第16条、第17条、第18条）